

Geotail と富士通（実は・・・）／ゴダード初出張の巻

元 富士通 西郡直実

先日の「ジオテイル衛星チームの集い」、大変楽しく過ごさせていただきました。既に宇宙研さんの仕事から離れて久しい私のような者までいつまでもお心に留めていただき本当にありがたく思っています。あの日（1月17日）は特に、前日付けで東京での勤めにピリオドを打ち、月曜日（19日）から新しく千葉の会社に移るというタイミングでもありましたので、私にとってはとても思い出に残る集まりとなりました。



前置きはこのぐらいいして、私の中ではGeotailプロジェクト一番の思い出となっているNASA初訪問の一席にお付き合いをお願いしたいと思います。

時は1990年9月。Geotailの観測データが、ISTPの一番手として研究者間で共有されることになり、ISTP観測データの取りまとめを担うCDHF担当者とデータ交換インタフェース調整を行うことを目的に、小原先生に同行し富士通からは梅田、相馬、西郡の3名がNASA/GSFCを訪問することになりました。その時の、赤っ恥あり、冷汗あり、ちょっぴり涙ありのほろ苦くも懐かしい思い出です。



何しろ、あの憧れの"NASA"に行けるということで、出張が決まった時から興奮しっぱなしでした。いざ到着して早速ゴダードの正面玄関で記念の一枚をパチリ！遂にNASAにやってきた！我が人生の記念すべき瞬間だわ！と、ボルテージは最高潮。何とも言えない幸せな気持ちに満たされたことが昨日の事の様に思い出されます。自分の名前が書かれた入館証は今でも大切に保管しています(笑)。まさにミーハーそのもの。で、肝心の仕事の方はというと、初っ端、

NASA、ISAS各位、それにNECさんはじめメーカーからの出席者も含めて30人位だったでしょうか、全員が一堂に会するミーティングで、一言ずつ自己紹介することになりました。もちろん英語でやるわけですから、もう自分の番が回ってくるまで緊張で心臓が破裂してしまいそうでした。いざ自分の番になって「My name is Naomi Nishigori. I'm a "manager" of ISAS ground data system.」と元気よく自己紹介したまではよかったのですが、回りの人たちは何故か一様に怪訝な面持ち。私は運動部のマネージャさんくらいの感覚で使ったのですが、何という無知さ加減。後でmanagerの正しい使い方を教えてもらい、恥ずかしさで穴にも入りたい気持ちでした。万事がこの調子で、討議テーマ毎に分かれた地上系I/F調整ミーティングでも、ISAS地上系システムについて怪しげな英語で冷や汗かきつつプレゼンテーションしたことがほろ苦くまた懐かしい思い出として残っております。若さ故の、恐いもの知らずの強行突破そのものでした。その一方で、暇を見てはゴダード施設内の売店でNASAグッズを買い占めんばかりにあさっておりました。売店のおばちゃんに呆れられましたが、今となっては手に入らないNASA旧ロゴ入りコーヒーカップが私の宝物です(百年後には「何でも鑑定団」に出せる？)。



さて、ミーティングの合間に小原先生にワシントン D.C.に連れて行って頂いた時のこと。さっきまで隣にいたはずの梅田・相馬両氏の姿がない……。てっきりはぐれてしまったとあわてて小原先生と一緒に必死になって探し回ったのですが、どこにも……。途方に暮れていた所、しばらくして二人が大きな買い物袋を下げて意気揚々と現れた時には、思わず涙があふれ出しました。ご心配をおかけした小原先生に申し訳ない気持ちと、無事に戻ってきた安堵感と、勝手

手な振る舞いをした二人への憤り（これが一番？）と……。何はともあれ何事もなく無事でよかったヨカッタ。

以上、珍道中初 NASA 出張のお粗末でしたが、Geotail プロジェクトに参加させて頂いたお蔭で大変貴重な経験をさせてもらうことができ、心から感謝しております。大学卒業後のハレーミッションから Geotail プロジェクトに至る約 10 年間は私の青春そのもの（それにしてもあの頃は本当に宇宙研命だったなー！）であり、その後の人生における何物にも代え難い大きな財産となりました。

Geotail もまだまだ元気で働いているようです。Geotail チームの皆さまもそれに負けないように益々お元気でご活躍されることをお祈り申しあげて、私のどうでもいい思い出話のまとめとさせていただきます。ありがとうございました。

